

(一財)経済広報センター「2019年度 教員の民間企業研修」受け入れ ～横浜市教育委員会より10名の教員が参加

令和元年8月5～6日の2日間、JISAは一般財団法人経済広報センターが実施する「2019年度 教員の民間企業研修」の受け入れを行い、横浜市教育委員会より派遣された小・中・高等学校校の教員が参加した。参加者は10名。

経済広報センターは、将来の日本を担う子どもたちの育成を図るため、「教育界と経済界とのコミュニケーションの促進」に力を入れている。「教員の民間企業研修」はその取り組みの一環として1983年から毎年行っているもので、小・中・高等学校の教員が夏休み期間中に、民間企業で様々な研修を受けるプログラムである。

JISAでは8年前より「教員の民間企業研修」受け入れを行ってきた。なお、当業界ではこれまで、(株)NTT データ(特例子会社)、TIS(株)、(株)野村総合研究所などのJISA会員企業が受け入れを行った実績がある。

プログラムの概要は以下のとおりである。

■8月5日(1日目)

社会における情報システムの重要性や、IT社会を創る仕事、またITの具体的な活用事例について理解を深めてもらうため、「暮らしや社会における情報システムの役割」「情報システム構築の仕事とITエンジニアの役割」「教育分野におけるデータ活用事例」「ITサービスの先進事例」についてJISA事務局が説明した。



その後、JIP テクノサイエンス(株)を訪問し、スマートフォンを用いた道路の路面性状把握システム「DRIMS」(JISA Awards 2017 Winner 受賞)について、開発の背景を踏まえたシステムの概要や国内外での展開事例等のレクチャーを受けた。さらに、効率的に道路施設の設備投資を行うための道路アセットマネジメントについて学んだ。

■8月6日(2日目)

キヤノン IT ソリューションズ(株)を訪問し、民間企業における働き方・職場環境の変化、教育現場における働き方改革の促進を支援するための「in Campus」等のレクチャーを受けた。その後、キヤノンの光学技術を基に開発された最新の映像技術であるMRを体験し、その技術の活用方法について意見交換を行った。

次に、JISA 事務所に移動して、JISA のプログラミング教育に対する取組を紹介した後、日鉄ソリューションズ(株)のビジュアル・プログラミング・アプリケーションである「K3Tunnel」について、学校現場での授業進行例を交えながら小学校高学年向けのプログラミング授業を体験した。



研修に参加した教員各位には、今回の研修で学んだことを活かし、子どもたちに様々な分野において社会を支えている IT や、IT 社会を創る仕事の大切さ・面白さを教えるとともに、IT の利活用による教育の高度化や学校事務の効率化に取り組むよう期待したい。

また、ご多忙な中、研修の受入に多大なご協力をいただいた JIP テクノサイエンス(株)、キャノン IT ソリューションズ(株)、日鉄ソリューションズ(株)に、この場を借りて、厚くお礼申し上げます。

(辻村)